

道路事業

北海道開発については、「第9期北海道総合開発計画」（令和6年3月12日閣議決定）において、従来の北海道の強みである「食」と「観光」を一層強化するとともに、再生可能エネルギーのポテンシャルによる「脱炭素化」を新たな価値と位置付け、豊かな北海道を実現し我が国の経済安全保障に貢献することを目指し、北海道の価値を生み出す生産空間の維持・発展を図ることとしています。

道路における具体的な取組としては「世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成」に向け、農水産物等の輸送を支える高規格道路の整備等を推進します。また、「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」に向け、道の駅における情報提供の多言語化、シーニックバイウェイ北海道、サイクルツーリズム等を推進します。さらに「ゼロカーボン北海道の実現」に向け、官民の力を合わせて道の駅における急速EV充電施設の設置等を推進します。

気候変動により激甚化・頻発化する水災害や巨大地震等の大規模災害、インフラの老朽化の現状等を踏まえ「生産空間を守り安心・安全に住み続けられる強靱な国土づくり」に向けて、災害時における代替性確保のための高規格道路整備や基幹的な道路ネットワークの強化、社会経済活動を支える道路施設の予防保全型のメンテナンスへの転換、i-Snow等のインフラ分野のDX化による現場の生産性・効率性の向上を推進します。

1 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成

○広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備

広域分散型社会を形成している北海道において、食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靱化を確保し、地域間の連携強化を図るため、高規格道路ネットワークの整備を推進します。

・国道44号 別保尾幌道路（令和7年度新規事業化）、尾幌系魚沢道路

2 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

○「シーニックバイウェイ北海道」の推進

シーニックバイウェイ北海道は、みちをきっかけに地域と行政が連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取組です。釧路開発建設部管内には「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ」と「知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ」の2つの指定ルートがあり、約50団体が活動しています。

また、シーニックバイウェイ「秀逸な道」では、多様な主体との連携による地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりの推進のため、ハード・ソフトの景観の維持・形成に向けた取組等により観光資源としてさらに磨き上げ、その魅力を発信することによりドライブ観光客の誘客を促進していきます。

釧路開発建設部管内では、令和3年度に「美幌峠と屈斜路湖を風のように吹き抜ける道」（弟子屈町）と「大自然の中を一直線に貫く中標津ミルクロード」（中標津町）の2区間、令和6年度に「北太平洋と湿地の風土に息づく自然と漁業の道」（厚岸町・浜中町）が「秀逸な道」選定区間に認定され、多様な関係主体の連携のもと、ハード・ソフトの景観形成・維持の取組等を実施します。

○サイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクルツーリズムの実現に向け、安全で快適な自転車走行環境の改善やサイクリストの受入環境の充実、情報発信の取組を推進します。釧路開発建設部管内には、雄大なふたつの国立公園を感じる延長約308kmのサイクルルート「阿寒・摩周・釧路湿原ルート」があります。

3 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格道路の整備や緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。

＜高規格道路＞

・国道44号 別保尾幌道路（令和7年度新規事業化）、尾幌系魚沢道路

＜一般国道＞

・国道44号 根室防雪、雪裡橋架替

・国道272号 上春別防雪

○防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化について、低コスト技術を積極的に導入しつつ、スピードアップを図ります。

・国道38号 釧路橋北地区電線共同溝ほか2箇所

○社会経済活動を支える道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

・国道38号ほか 橋梁修繕、舗装修繕

○冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、災害時の一時避難場所となる道の駅等において自治体や関係機関と連携した防災訓練を実施します。また、大雪・暴風雪時の取組として、道路管理者間で連携した高速道路通行止め時の並行路線対策やラジオ放送・SNSを活用した情報発信、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊：リエゾン^注）を含む）派遣による自治体支援に向けた情報収集などを、円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。

（注：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体へ派遣する職員）

・国道243号 美幌峠雪崩対策

○交通安全対策の推進

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」^注を推進するとともに、自転車事故の危険性が高い区間については、自転車走行空間整備を計画的に推進します。また、通学路や未就学児の移動経路において、子どもの安全な通行を確保するための対策を関係機関と連携して推進します。

（注：事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組）

・国道38号 白糠交差点改良ほか9箇所

道路ネットワークの整備



国道44号 尾幌系魚沢道路

シーニックバイウェイ北海道



シーニックバイウェイ「秀逸な道」
北太平洋と湿地の風土に息づく自然と漁業の道（厚岸町・浜中町）

サイクルツーリズムの推進



阿寒・摩周・釧路湿原ルート
国道241号双岳台（永山峠）

道路交通ネットワークの耐災害性強化



国道44号 根室防雪

道路交通ネットワークの耐災害性強化



国道44号 雪裡橋架替

無電柱化の推進



国道38号 釧路橋北地区
電線共同溝

道の駅等での防災訓練



防災訓練（標津町）

交通安全対策（右左折車線整備）



国道38号 白糠町